

氏名	諏訪文明
----	------

学位の種類	医学博士
-------	------

学位授与番号	乙 第 1741 号
--------	------------

学位授与の日付	昭和62年 3 月31日
---------	--------------

学位授与の要件	博士の学位論文提出者（学位規則第 5 条第 2 項該当）
---------	------------------------------

学位論文題目	悪性腫瘍関連物質としての PNA レクチン結合性糖蛋白について
--------	---------------------------------

論文審査委員	教授 木村郁郎      教授 太田善介      教授 産賀敏彦
--------	-----------------------------------

### 学 位 論 文 内 容 の 要 旨

PNA (peanut lectin) 赤血球凝集阻止試験を行ない、悪性腫瘍患者血清および腹水中に高率に PNA レクチン結合性糖蛋白 (PNA binding glycoprotein, PNABGP) が存在していた。

レクチンアフィニティクロマトグラフィーを用いて、悪性腫瘍患者腹水より PNABGP-1 を調製した。PNABGP-1 から他のアフィニティカラムを用いて正常ヒト血清成分および肝硬変腹水成分を除去し、PNABGP-2 および PNABGP-3 を精製した。家兎で得た抗 PNABGP-3 抗体を用いたイムノブロット法で PNABGP-3 は、120 K ダルトンにメインバンドを認めた。

この抗体を用いた enzyme-linked immunosorbent assay により、各種肝疾患および他の疾患患者血清中の PNABGP-3 値を測定した。血清 PNABGP-3 の平均値は、健康者に対し、肝細胞癌、肝硬変、慢性肝炎で有意に高値であった。また肝硬変に対し、肝細胞癌で有意な高値を認めた。PNABGP-3 は、悪性腫瘍に関連した糖蛋白を含んでいる可能性が示唆された。

### 論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

本研究は PNA レクチン結合性糖蛋白について基礎的ならびに臨床的に研究したものであるが、これまで十分検討されていなかった本物質を悪性腫瘍患者腹水より調製し、その抗体を用いて enzyme-linked immunosorbent assay により肝疾患その他の疾患患者血清中の本物質を測定したところ、肝細胞癌、肝硬変、慢性肝炎特に肝細胞癌で有意の高値を認め、本物質は悪性腫瘍に関連した糖蛋白を含んでいる可能性を認め、重要な知見として価値ある業績と認める。

よって、本研究者は医学博士の学位を得る資格があると認める。